

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第188号	
事故等種類	衝突（水中の障害物）	
発生日時	平成22年8月18日 08時00分ごろ	
発生場所	東京都足立区中川常磐線鉄橋下付近 （概位 北緯35°46.1′ 東経139°51.6′）	
事故等調査の経過	平成22年9月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	油タンカー 第六 ^{ふじみや} 富士宮丸、199.29トン	
船舶番号、船舶所有者等	126166、富士石油運輸株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）（履歴限定）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に微小な破口	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、ガソリン約300klを積載し、船首喫水約2.20m、船尾喫水約2.60mで、中川上流へ向け航行中、平成22年8月18日08時00分ごろ、船底に衝撃があった。 本船は、揚地に到着後、機関室の船底外板から浸水しているのが確認されたため、応急処置が施された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 1 海象：穏やか	
その他の事項	発生場所付近の川底には、自転車やベンチ等の粗大ゴミなどが沈んでいた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、中川常磐線鉄橋下付近を航行中、川底に存在していた粗大ゴミなどに船底が接触した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、中川常磐線鉄橋下付近を航行中、川底に粗大ゴミなどが存在していたため、船底が接触したことにより発生した可能性があると考えられる。	